

2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(63)番 福山市立明王台小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	主体的に学ぶ力	思考力	表現力	他者と関わる力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	生活体験や既習事項を基に、調べたり考えたりするなど、継続して新たな課題を見つけようとしている。	より良い解決に向け、目的や意図に応じて論理的に考えようとしている。	必要な情報を整理し、論理的に話したり書いたりするなどして、自分の考えを表現しようとしている。	初めて出会う考えにも耳を傾け、目標達成に向けて、共感しながら互いに学び合おうとしている。

2 授業の現状

○授業展開の中に考える場面や書く活動を取り入れたことで、理由をつけて発言する児童が増えた。
▲児童が自分の考えをまとめて書くことや、授業で考えを練り合い深めていくための学習内容・発問の工夫が必要である。

転換

3 めざす授業の姿

・主体的な学びとなるよう、板書計画を立て授業の工夫を行っている。
・自分の考えをまとめ書く時間や考えたことを練り合う場を確保し、手立てが設定されている。
・グループやペア等の活動を通して他者と関わり合う場が設定されている。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> 児童のノートを意識した構造的な板書を作成し、発問・指示の精選 根拠をもとにした、考える場面・書く活動の設定 関わり合う場面・表現する場面の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材研究に基づいた板書作成と発問・指示の精選 (国語 85.8%, 算数 87.1%) ○考える場面・書く活動の設定 (国語 82.2%, 算数 76.0%) ○関わり合う場面・表現する場面の設定(国語 81.2%, 算数 83.5%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○重点単元を中心に取り組む ・教材研究ノートの作成と子どもの意見をつなぐ主体的な学びを意識した、発問・指示の工夫 ・考えたことを条件付けや順序立てて書かせる活動の設定 ・相手の考えに反応しながら聞く等、他者と関わり合うために、目的や課題を明確にしたペアやグループ学習を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材研究に基づいた板書作成と発問・指示の精選 (国語 86.1%, 算数 86.8%) ○考える場面・書く活動の設定 (国語 87.1%, 算数 86.1%) ○関わり合う場面・表現する場面の設定(国語 86.1%, 算数 86.8%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○重点単元を中心に取り組む ・教材研究ノートの作成と子どもの意見をつなぐ主体的な学びを意識した、発問・指示の工夫 ・自分の考えを条件付けや順序立てて記述した後、伝える場を適宜設定する。 ・相手の考えに反応しながら聞く等、他者と関わり合うために、目的や課題を明確にした協働的な学習の場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材研究に基づいた板書作成と発問・指示の精選 (国語 91.3%, 算数 92.5%) ○考える場面・書く活動の設定 (国語 91.9%, 算数 91.3%) ○関わり合う場面・表現する場面の設定(国語 91.9%, 算数 90.6%)

5 取組の結果等

数値は2019年(R1年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)	
国語	72(+6)	自分にはよいところがある	80.0
算数(数学)	71(+3)	先生はよいところを認めてくれる	90.0
		将来の夢や目標を持っている	86.7
		人の役に立つ人間になりたい	100

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(児童生徒質問紙調査)(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい	92.6
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	100
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	96.2
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	88.8

暴力行為発生率・不登校児童出現率(%)	(2)月末現在
暴力行為	0
不登校	1

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 29/48	○「50m走」では、県平均かつ全国平均を上回った学年は41.7%にとどまった。(目標50%以上) ○「20mシャトルラン」は昨年度の目標値には達せず、男子では3つの学年で県平均を下回った。 ○総合評価における昨年と今年度の比較ではAB率57.0%→49.4%、CD率12.7%→19.3%となった。	○新体力テストにおける平均値を上回る児童75%の目標値に対して、達成率59.4%にとどまった。 ○「ボール投げ」で県平均を上回った児童は男子51.1%、女子56.8%だったため、学校全体での重点課題を「ボール投げ」に設定する。	○体育の準備体操(サーキット運動)に、投げの運動を取り入れる。体育館では小さな的を狙って投げる運動、運動場では投板を利用した運動を行う。 ○2学期末には「ボール投げ」の再測定を行い、取組みの結果を検証する。
目標値	○「ボール投げ」において県平均値を上回る児童を60%以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	85.7	14.3
仕事に充実感がある	100	0

児童生徒アンケート(%)

(2)月末現在

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	82.4%	17.6%
自分の考えは、認められている	93.5%	6.5%